

一部	教科書 p. 134 ～ 145	組 番	名前	/50
----	---------------------------	--------	----	-----

一 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) お嬢お嬢さんに出会いう。 [] 各1点〔8〕
- (2) 日差ひさししを遮さる。 []
- (3) 相手あいてを逆襲さかする。 []
- (4) 悔恨くわんの情なさけを抱かかく。 []
- (5) 美しい容貌ようぼうの娘むすめ。 []
- (6) 挨拶あいさつを交まじわす。 []
- (7) 明瞭めいりょうに話わす。 []
- (8) 偽いつはりりの証言しょうげん。 []

五 に漢字一字を入れて、次の熟語の類義語を作

れ。 [] 各2点〔4〕

- (1) 挙動きやうどう || 動 []
- (2) 突然とつぜん || 意 []

六 に体を表す漢字一字を入れて、後の意味を表

す慣用句を作れ。 [] 各2点〔6〕

- (1) が立つ []
- (意味) 技芸や武道に優れている。
- (2) を潰す []
- (意味) 面目を失わせる。
- (3) を三角にする []
- (意味) 怒って険しい目つきをする。

二 傍線部の片仮名を漢字に直せ。

各1点〔8〕

- (1) 声こゑがフルふるえる。 []
- (2) 両親りやうしんにハンコウはんこうする。 []
- (3) 歌声かこうがヒビびく。 []
- (4) キョウフきょうふにおののく。 []
- (5) 車間くるまかんキヨリきょりをとる。 []
- (6) 電車でんしゃにユよられる。 []
- (7) ナナななめに線せんを引ひく。 []
- (8) マホウまほうをかける。 []

七 次の三字熟語の意味を、後からそれぞれ一つづ

つ選べ。 [] 各2点〔4〕

- (1) 真骨頂まこてい []
- ア 本来の姿以上に努力をして力をつけること。
- イ 本来持っている力が発揮できないこと。
- ウ 本来持っている姿以上によく見せること。
- エ 本来持っている真の優れた力。

三 傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。

各2点〔6〕

- (1) 初志はつしをツラヌク。 []
- (2) 目めがツカレル。 []
- (3) クワシイくわしい内容を聞きく。 []

- ア そのことが専門ではない人。
- イ そのことを専門にしている人。
- ウ そのことを専門にしようと訓練している人。
- エ そのこと以外にも専門にするものがある人。

四 次の各組の傍線部の片仮名を、意味に注意して

漢字に直せ。

各1点〔6〕

- (1) 道順みちじゆんをタズたねる。 []
- (2) 親友おんなじともの家いへをタズたねる。 []
- (3) 意志いしがカタかたい。 []
- (4) 彼は口くちがカタかたい。 []
- (5) 北風きたかぜがフふく。 []
- (6) 火山かざんの煙けむりがフふく。 []

八 に漢字一字を入れて、四字熟語を作れ。

各2点〔8〕

- (1) 起死回 []
- (2) 前途 難 []
- (3) 針小 大 []
- (4) 千変 化 []